

# 「現代ビジネスと起業」



講師 株式会社自分楽 代表取締役 崎山みゆき  
一般社団法人日本産業ジェロントロジー代表理事  
元・静岡大学大学院客員教授

# 本講義の目的

- 1 日本における「現場事例」を知る・確認する
- 2 自分の「起業」の軸・定義を見つける
- 3 多様な働きかたを知る

# 本講義の流れ（レジюме）

- 1 「働きかた」事例（略歴・キャリア形成・多様な職場紹介）
- 2 起業とは何か？ 自分の経験から得た結論
- 3 「今、学んでいること」を、生かすために必要な事
- 4 質疑応答

# 講師 崎山みゆき 略歴

- ・桜美林大学大学院 国際学研究科修士(MA)
- ・サンフランシスコ州立大学学術博士
- ・一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会代表理事
- ・特定非営利法人成人病予防協会認定講師
- ・横須賀市文化振興審議会委員
- ・東京セカンドキャリア塾、シニアトライアル事業 講師
- ・ユーオス(User Oriented Systems Group)

シニアエンジニア活用研究会 顧問

- ・NPO法人楽学の会顧問
- ・産業カウンセラー、余暇開発士

## 所属

- ・一般社団法人 経営情報学会
- ・一般社団法人 日本応用老年学会
- ・一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会
- ・一般社団法人 日本産業カウンセラー協会
- ・東京商工会議所
- ・一般社団法人日本ファミリービジネスアドバイザー協会
- ・一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会
- ・横浜華道協会 (師範歴 23年)



実績 (敬称略) 内閣官房・会計検査院・東京都・富山県・NTTデータアイテック・アリコジャパン  
・花王・千葉トヨペット など多数

# 1 講師の働きかた事例（略歴・自己紹介・多様な職場紹介）

1965年 神奈川県横須賀市生まれ

## 会社員時代

1985年 相模女子大学短期大学部国文学科卒業

日立電子サービス株式会社入社

・第三技術部技術系女子 企画職 6年間

・総務部 イベント・研修担当 総合職 3年間

▶ 資格を生かして

## 失業給付受給時代

1998 専業主婦1週間・自治体アルバイト・ボランティア

## 個人事業主時代

研修講師・財団専門員・専門学校講師…色々

専門分野 コミュニケーション・ライフデザイン

2000年 社会人大学院生 研究テーマ 生涯学習・コミュニケーション

## 経営者時代

2003年 株式会社自分楽 設立・代表取締役就任(自分楽は、修士論文テーマ)

静岡大学大学院・特別講師・客員教授就任

社会人に「ビジネスコミュニケーション」

2015年 一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会設立・代表理事就任

所在地	〒112-0005 東京都文京区水道2丁目1-5 明日香ビル1階
設立	2003年4月1日
代表取締役	崎山みゆき
事業内容	<p>1 法人向け シニア・ミドル向け研修・講演                  2 シニア・ミドルの能力開発に関するコンサルテーション                  3 資格取得講座                  （一般社団法人 日本産業ジェロントロジー協会認定資格）</p>
実績	<p>防衛庁 会計検査院 総務省 人事院 東京労働局 日本放送協会 千葉地方裁判所 千葉家庭裁判所 横須賀税務署 岩手県 東京都 埼玉県 長崎県 横須賀市 八王子市 財団法人神奈川県長寿社会開発センター 龍野商工会議所 静岡大学大学院 桜美林大学 東京工科専門学校 大妻女子大学 NTTラーニングシステムズ株式会社 鉄道情報システム株式会社 日立化成工業株式会社 株式会社ベルーナ 株式会社日立電子サービス 千葉トヨペット株式会社 損保ジャパン アリコジャパン その他 多数                  取材 日本放送協会・テレビ東京・読売新聞・東京FM その他多数</p>

所在地	〒112-0005 東京都文京区水道2丁目11-5 明日香ビル1階
設立	2015年6月12日
代表理事	崎山みゆき
事業内容	<p>「産業ジェロントロジー」に関する啓蒙・啓発活動</p> <p>「産業ジェロントロジーアドバイザー・インストラクター」資格認定</p> <p>「産業ジェロントロジー」に関する教材開発・作成</p> <p>シニア人材活用に関する調査・研究</p> <p>法人会員制度の企画・運営</p> <p>各種セミナー・講演会・イベントなどの企画・運営</p>
顧問	<p>長田 久雄：桜美林大学大学院老年学研究科教授</p> <p>柿澤 晋一郎：UOSグループ 一般社団法人情報システム学会 副会長</p> <p>西澤 民夫：一般社団法人オープン・イノベーション促進協議会 代表理事</p> <p>近藤 哲也：弁護士・ニューヨーク州弁護士</p> <p>山下 明宏：税理士 山下明宏是理士事務所所長 TKC都心会顧問</p>

# 取得資格（学位含む）

- 1 余暇開発士
- 2 レクリエーションインストラクター
- 3 健康生きがいづくりアドバイザー
- 4 産業カウンセラー
- 5 健康管理士一般指導員
- 6 キャリアチェンジ・シフトチェンジ  
ワークショップインストラクター
- 7 修士
- 8 博士

質問  
私の「飯のタネ」になつた資格は、  
いくつあるでしょうか？



# 資格には、二種類ある

- 1 それがないと仕事ができない、してはいけない。ライセンス  
例…弁護士、社会保険労務士、衛生管理者、医師、教職員。
- 2 資格取得の勉強そのものが役に立つ。  
例…産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、  
パティシエ、ネイルアーティスト。

## 2 起業とは何か？

### 自分の経験から得た結論

起業とは、新たに事業を起こすこととして使用されている。

わが国において、共通の定義はなされていない。

自分の定義をもつことが、  
必要なのではないのか？

会社を設立して、わかったこと。

起業とは、自立・自律である。

会社を作ること、新しいことを始めることは後からくっついてくる。

あるいは、自立・自律のための方法論。

なぜ、個人事業主から、会社を設立したのか？

- 1 法人と取引をしたかった
- 2 税理士のすすめ
- 3 事業プランが、個人事業主の枠を超えていた

なぜ、NPOではなく、株式会社を選んだのか？

- 1 目的の違い
- 2 会社法改訂による、設立のしやすさ
- 3 社会的信頼度 → 当時の社会的風潮

# それぞれの時代で得た、起業に役立ったもの

短大時代	<ul style="list-style-type: none"><li>・文章の組み立て方</li><li>・仕事の基本的な考え方</li></ul>
会社員時代	<ul style="list-style-type: none"><li>・「努力」には二種類。報われる・報われない</li><li>・企画書の書き方</li><li>・女性の見方は女性、敵も女性</li><li>・独学の方法</li><li>・提案する場合は、自分が創る</li><li>・愚痴ではなく、数値で示さねば人（上司）は動かない</li><li>・年上の人と付き合うことのメリット</li><li>・ビジネスマナー</li></ul>
大学院	<ul style="list-style-type: none"><li>・期日がすべて</li><li>・仕事と家事の両立の仕方</li><li>・学歴より、学習歴。但し、強い信念が必要。</li><li>・誰に何を学ぶかが重要。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・行政書類は、大抵のことは誰でもできる（コツあり）</li><li>・資格取得は、最善の学習カリキュラム</li></ul>

企業で得たものが、起業に役立った。



**変**なこともたくさんありましたが...

3 今学んでいることを、生かすために  
必要な事

- 1 今すぐ使うことができるものは、無い
- 2 使うためには「キャリアデザイン能力」が必要である
- 3 使う場とは、自分で探すもの



私が「起業」を通じて得たものは、  
学び方、それを生かす場の探し方

あまり言われないことですが…

1 やめることも視野に入れる

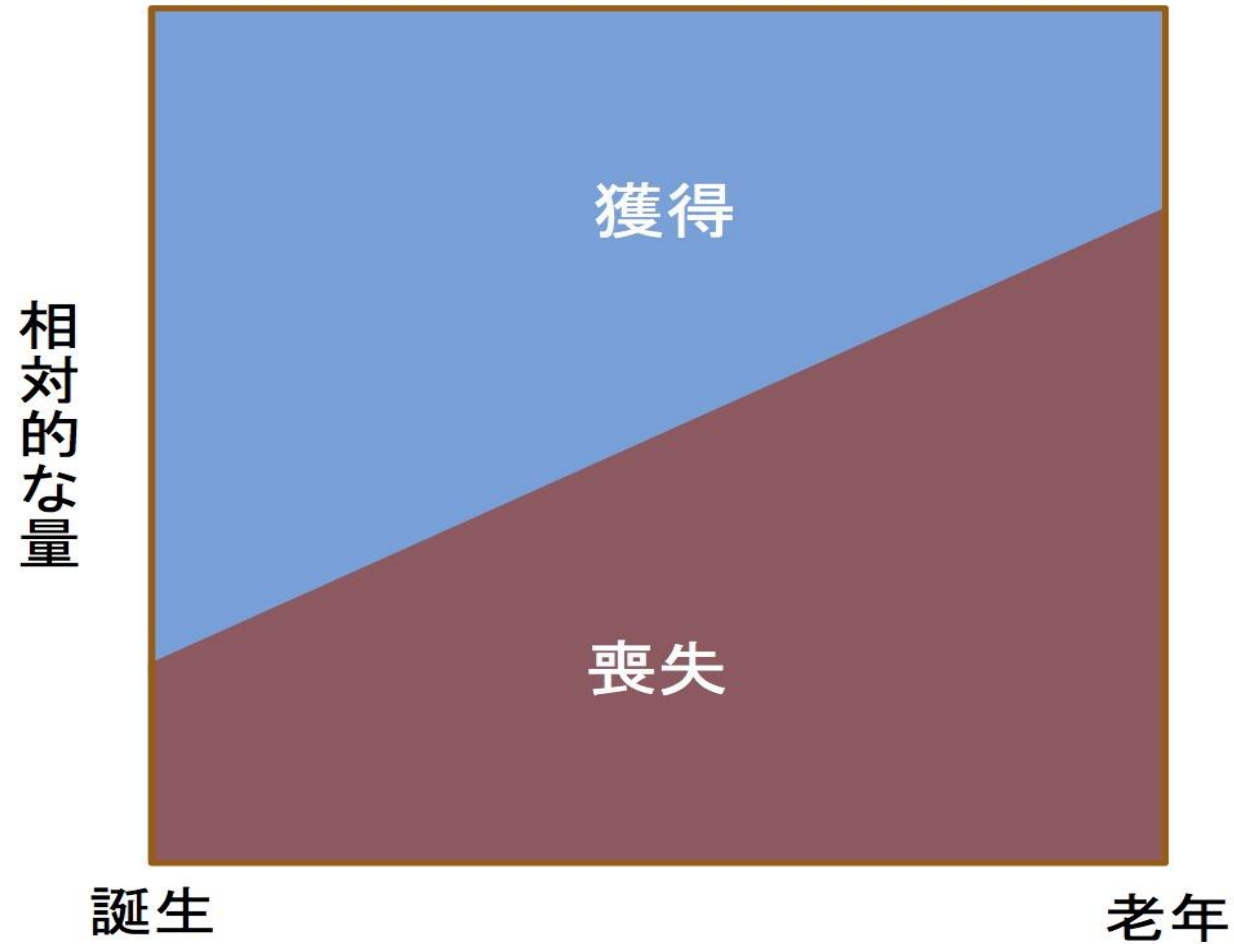
2 一人では何もできない。最後は一人。  
いずれも正しい。

3 事業計画は、タイミングが大切。

事例（逆バージョン）

仕事で得た知識が、生活に役立つことがある。

# バルテスの「獲得・喪失モデル」



(Baltes, 1987)



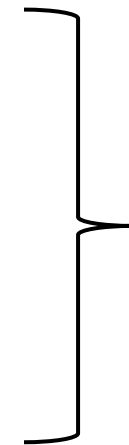
2011年3月 心不全・徐脈のため心臓手術。  
ペースメーカー装着の、障がい者一級となった。



助けてくれているのは、  
社団・自社のコンテンツ開発のために  
勉強した「ジェロントロジー」の理論の数々  
倒産の危機を乗り越え・持続した、心の力

- 今までできたものが、できない  
水泳禁止、電気自動車注意、IH禁止、多様な葛藤…
- 身体が動かず、2-3倍の時間がかかる  
朝の身支度、家事、仕事…
- 健常者に見えるので、通勤・銀行ATMで動作が遅いと怒られる。

自責



・ 衰える能力の補い方  
・ 変化に対する適応の仕方

起業は、仕事・生活、多様なキャリア形成を  
もたらせてくれました。

ただし、それが本当に自分のためになったのか、  
人のためにもなったのかは、死ぬまでわかりません。

だから、継続することが大切なのではないのでしょうか？

自分の生き方・働きかたを楽しみましょう。

